

就職活動の現況報告と 就職支援体制について

今年度どのような就職活動が行われ、来年度はどうなるのか。就職の今と大学の就職支援体制を、学生のキャリア形成と就職のサポートを担うキャリア形成支援課の岩瀬文人課長が語る。

※専修大学の「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動レベル」の変更により、相談体制や資料室利用、また支援プログラムの実施に関して変更が生じる場合があります。



専修大学キャリア形成支援課長

岩瀬文人

4年次生の就職活動

今日お話しする内容は3つです。①4年次生の就職活動状況、②3年次生への支援状況、③ご父母の皆様へのお願い、です。まず4年次生の就職活動状況についてお話しします。

コロナにより就職活動はWeb全盛に変わりました。約1,263社のアンケートの結果を見ると、Web面接を導入したという企業が73%です。セミナー、説明会もWebで実施した企業がやはり7割以上あったということです。内定式についても50.7%の企業がWebで行ったそうです。

新たな採用方法として、例えば面接を全てオンラインで実施する企業や、面接を行わず学生が撮影した自己PR等の動画で選考する企業、あるいは年間を通じて採用活動を行う企業もありました。

そして、早期化という傾向もあります。マイナビが約5,100名の学生に行ったアンケートでは、3月時点で内定をもらった学生の比率は年々上がっています。今の4年次生は20.5%（前年比+7.8ポイント）で、早くから動いて内定をもらった学生が多いということです。一方で、4月以降は緊急事態宣言等の影響により、前年より低い数値

となっています。

次に厳しい数字をお伝えしなければなりません。本学の学生にサンプル調査をした結果、内定率と就職決定率をご覧の通りになります（図1）。内定率、決定率、それぞれ前年比で15.2ポイント、12.1ポイントのマイナスになっています。

この要因を2つ挙げたいと思います。1つ目が大学生の求人倍率の下落です。前年度の1.83倍から1.53倍になりました。就職氷河期と言われた2000年3月卒の0.99倍、東日本大震災の翌年2012年3月卒の1.23倍よりはまだ高い数字ではありますが、これだけの下落はリーマンショック時以来で、採用市場の様相が変わったことが見て取れます。求人総数で12万人以上減っています。今年7月に1,263社が回答した調査結果になりますが、特に従業員1,000人以上の企業のうちの35.2%が前年度から採用見込み数を減らすという回答でした。

そして、2つ目の要因です。公務員採用試験の実施状況を挙げます（図2）。赤枠で囲んだのが今年（令和元年度）の状況です。これら4つは本学の学生が多く受験する種別です。ご覧の通り、昨年と比較して約2カ月またはそれ以上、後ろ倒しになっていま



図1

公務員採用試験の状況		
種別	2次試験実施日	合格発表日
国家一般職	9/9~25 (7/17~8/2)	10/13 (8/20)
国税専門官	9/1~14 (7/11~19)	10/13 (8/20)
東京都特別区I類	11/2~9 (7/9~22)	11/20 (8/5)
警視庁警察官	9/26・27、 10/3・4・11 (6/1・2・8・9)	試験実施日の 約70日後 (同上)

専修大学 () 内は令和元年度実施分

図2

す。先の調査を行いました10月上旬時点では公務員採用試験の受験希望者の合否が出ていないため、内定率と就職決定率にも影響が出ています。

現4年次生に関しての支援は今も継続して行っております。以下は明るい数字ですが、リクルートキャリアが今年9月に調査した1,269社の結果では、10月以降に追加採用を実施予定の企業が40.5%、検討中を含めると66.9%となります。キャリア形成支援課にも10月以降になってから、「現在も採用活動を続けているので、学生を採用したい」という話をいただくこともよくあります。主にそういった企業をお招きして、4年次生向けの学内企業説明会を開催しています。また、就活パワーアップ講座、自己PRの作成、面接対策講座なども開催しております。

キャリア形成支援課ではWeb相談、対面相談を実施しております。例年とは違い、相談時間を45分に制限し、また事前予約が必要ですが、手厚きめ細やかな支援をいたします(図3)。そしてもう1つ、キャリア形成支援課の資料室もこのような形で開放しています(図4)。在室できる人数の制限がありますが、パソコン使用、資料の閲覧にご利用いただきたいと思っております。

3年次生への支援状況

次に3年次生への支援状況をお伝えします。2022年卒者の採用見込みは10月の調査の段階では「増える見込み」と答えた企業を「減る見込み」と答えた企業が1.1ポイント上回っています。従業員が1,000人以上の企業では3.4ポイント、「減る見込み」が上回っています。昨年と同じ調査では全体で「増やす見込み」が「減らす見込み」を5.9ポイント上回っており、採用市場の冷え込みが見取れます。

次に企業の採用選考活動の傾向です(図5)。インターンシップの実施・見直しであったり、採用活動のオンライン化に注力したいという企業が増えています。また、学生もWebセミナー、面接に参加したいと回答しています。Webでの面接等を利用したい理由として、交通費や移動時間の節約、あるいは好きな時間に視聴できる、感染症のリスクが少ないということもあります。また、地元の企業、地方の企業へのアクセスが容易になったということも理由です。家にいながら就活ができる、いわゆるテレ就活が全盛の時代になってきたといえます。

こういった状況を理解しつつ、キャリア形成支援課では10月に第1回就職ガイダンスをオンラインで実施しました。ポイントは、準備、対策を年内に終わらせるということ。もう1つは秋冬開催の説明会や仕事体験に、学業に支障がない範囲で積極的に参加しましょうということです。

こちらはその時のスライドの一部です(図6)。社会と自分の現状を知り、自己PR、ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)、志望動機を構築していくということです。それによりエントリーシートの作成や面接対策もはかどるはずです。

また、秋冬には説明会や仕事体験等の機会が増えることが予想されます。特に、夏のインターン



図5

キャリア形成支援課での相談

WEB相談

月～金曜日 11:00～18:00
相談時間45分、1日あたり32枠
Webキャリアノートにより事前予約

対面相談

月～金曜日 11:00～18:00
相談時間45分、1日あたり13枠
電話により事前予約

図3

キャリア形成支援課資料室

開室時間：平日 9:00～17:00 (神田：木曜のみ 9:00～18:00)
土曜 9:00～12:00
※最終入室は平日16:00、土曜11:00 (神田における木曜のみ17:00)

制限事項
・学生一人当たりの最長滞在時間は1日1回60分まで。
・同一時間帯に在室できる最大人数は生田：15名、神田8名。

図4

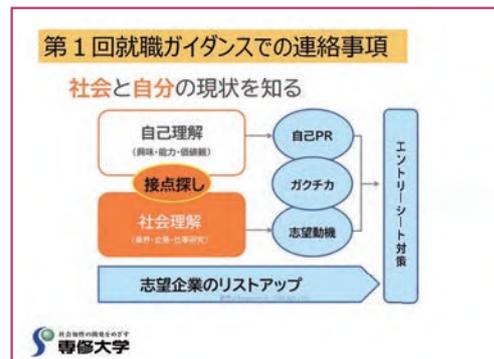


図6

シップに参加できていない人はここに参加して企業との接点を持ちましょう。

また、企業が実施する適性検査についてリクナビの方がお話ししました。性格適性検査、基礎学力能力検査は、学生が思うよりも重視する傾向があるということでした。

ガイダンスを通じて学生からアンケートを採りました。就職活動に限らず、コロナで友達と会えない、学校に来ることもなかなかできないというところで、今の自分の現状に不安を覚えている学生は思いのほか多いことがわかりました(図7)。

3年次生向けの主なプログラムとしては、例年行っている履歴書・エントリーシート対策講座、企業研究セミナー、OB・OGトーク、UIJ ターン合同説明会(全学年対象)等をオンラインで実施いたします。

また今年から新たに実施するイベントとして、キャリアカフェがあります。自分が今悩んでいること、考えていること、周りの人はどうなんだろうというところをお互いに話し合ってもらう、との企画です。テーマにより対象学年が変わります。今回は3年次生対象ですが、今後1、2年次生に対しても実施をする予定です。人数限定で、オンラインではありますけれども、時間の許す限り参加をしてもらいたいと思います。

ご父母の皆様へのお願い

学生たちがご父母・保護者からしてもらって嬉しかったこと、逆にされて嫌だったことについて、2019年12月に就活を終えた学生約1,100人の声を拾いました。親にされて嫌だったことランキングです(図8)。

価値観の違いを斟酌しないで意見された、あるいはほかの学生と比較するということが挙がりま

3年次生の声(第1回就職ガイダンスを視聴した学生の感想等、抜粋)

「コロナ禍で友達に会う機会も少なくなっており、就活に対して不安なことが多い。」

「周りがどう動いているのか、今自分がやっていることは遅れているのか、また正しいのかわからず、不安を感じる。」

「コロナの影響により日々変わっていく状況に恐怖感を覚えている。」

図7

した。就活生は自分なりに熱心に調べたことに対して親の先入観や価値観を押し付けられて意見されることにストレスを感じるようです。また、比較といえば、特に同性の兄・姉と比べられると、家庭内で自分自身を否定されたような印象を持つかもしれないなとも思いました。もっともお兄さん、お姉さんの時代とは就活を取り巻く環境が違うこともあるかもしれません。

逆に、親にしてもらって嬉しかったことは、1位、4位に物質的な援助があります。2位、3位、5位、6位、7位、8位を見ますと、自分のしていること、考えていること、思っていることを親に認めてもらうことが挙がり、こうしたことに学生が喜ぶのかというのがわかります。

私からのお願いになります。ご父母・保護者の皆様には、どうかご子女の就職活動に関しては、価値観を押し付けずに温かく見守っていただければと思います。また、ご子女の思いを頭ごなしに否定せず、まずは聞いていただければと思います。時に、社会人の先輩として、仕事の面白さや厳しさ等も伝えていただければと思います。皆様のお言葉が学生を励まして癒すことになることを望んでおります。

最後になりますが、私たちの就職支援方針を述べます。「学生の就職への主体的な決断を支える」、これがキーワードとっております。学生たちが考え悩んで自ら結論を導き出して行動をする。それによって自立した社会人への歩みを進める。そのための支援をしております。この4月からキャリア形成支援課として、就職はもとより、学生たちのキャリア形成に関しても支援を行っています。3、4年次生はもちろん、1年次生、2年次生からでも結構です。私たちがどうかご利用いただきたいと思っております。

就活生が親にされて嫌だったことランキング		
	保護者のかかりで嫌だったこと(複数回答可)	割合(%)
1位	志望職種について意見された	13.5%
2位	志望職種について意見された	10.3%
3位	ライフプラン、キャリアプランについて意見された	9.7%
4位	就職活動の進め方について意見された	9.5%
5位	自分の気持ちをくんだ言葉をかけてくれなかった	7.8%
6位	進路決定後に進路について意見された	7.2%
7位	保護者や別の世代の人と比べられた	7.2%
8位	他の人や兄弟などと比べられた	6.7%
9位	金銭的、物質的援助が少なかった(なかった)	4.9%

出典：就職みらい研究所「就職プロセス調査2020年 12月1日時点」

図8